



大船渡水産振興センター「復興板」

平成29年1月15日発行 第49号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成28年12月31日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、62.7%となっています。

(平成28年12月31日現在)

	災害査定 (H27再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	243	35,885,340	237	32,477,467	31,254,798	87.1	186
漁港海岸	11	35,171,371	11	19,243,487	13,119,302	37.3	2
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100.0	2
合計	256	71,555,591	250	52,219,834	44,872,981	62.7	190

完

さっちゃんNEWS part 1

「さけの子さっちゃん」はスマイル130プロジェクトに取り組んでいます。
「130万人誰もが笑顔に」♪



<魚市場、初売り手締め式>

大船渡市魚市場では、1月4日、新年の「初売り手締め式」が行われました。千葉隆美社長（写真右端）から「今年は恵比寿様が倍返しではほほ笑んでくれる」との挨拶があり、戸田公明大船渡市長をはじめ、多くの市場関係者が、三本締めで新年の大漁を祈願しました。



★★★_スマイル130(いちさんまる)プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。



2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成 26 年度	荷さばき施設 冷凍庫	広田湾漁業協同組合 大船渡湾冷凍水産加工業協同組合
平成 27 年度	漁具倉庫 定置番屋	広田湾漁業協同組合 越喜来漁業協同組合

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成 28 年 1 月から 12 月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成 28 年(震災後)		平成 27 年(震災後)		平成 20 年から平成 22 年の平均(震災前)		前年比 (H28/27)		震災前平均との対比	
数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
34,053	5,163,493	37,385	5,507,138	57,890	6,561,267	91	94	59	79

12月は主に、サバ類(1,321t、94,050千円)、マイワシ(1,260t、69,794千円)、サンマ(176t、22,184千円)、ブリ(83t、17,948千円)、アキサケ・オス(61t、18,608千円)、アキサケ・メス(54t、71,473千円)等が水揚げされています。

さっちゃん NEWS part2

<アユ種苗の初出荷>

一般社団法人岩手県栽培漁業協会では、12月27日に、今期初めてアユ種苗を出荷しました。

今回は、南部馬淵川漁業協同組合(二戸市金田一)に200kg(40万尾)を出荷しました。この後、盛川漁業協同組合等の県内4ヶ所と県外の3ヶ所に合計3,000kgの出荷を予定しています。アユは出荷先で5月から6月頃まで中間育成され、自河川及び県内の河川に放流されます。写真は、順調に一尾0.7g程度に育ち、出荷を待つアユ種苗です。



<干鮑づくり>

気仙管内では、今シーズン漁獲されたアワビで「干鮑」を製造する作業が行われています。本県沿岸ならではの冬の日差しや乾いた寒風を受ける気象条件と、細やかな管理のもとで旨みが凝縮した干鮑は、世界一と云われる高級中華食材になるのだそうです。



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター

(担当 平田)

岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階

TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229

E-mail:BG0004@pref.iwate.jp